



公明市議会ニュース

発行所：公明党川崎市議団 住所：川崎区宮本町1 TEL 044-200-3361 発行人：菅原 進 編集人：後藤 晶一

第3回 定例会 代表質問

少子高齢化社会に 立ち向かえ!

9月20日 公明党川崎市議会議員団の代表質問が行われました。質問に立った吉岡としすけ議員は多様な子育て環境の整備、いじめ問題、高齢者対策など、23項目にわたり本市の取組をたどしました。



代表質問に立つ吉岡としすけ議員

① 多様な子育て環境整備を!

待機児童数は減少しているものの、ターミナル駅周辺や再開発が行われた人口急増地域では、益々深刻化しています。待機児童問題に対する現状認識と具体的対応策についてたどしました。

こども本部長は「平成24年度に

1435人、平成25年度に1350人の定員増を図ることとともに、認可外保育施設についても年度内に基本方針を決定する」と答弁しました。また、病後児保育については平成26年度までに1か所の施設増を図ることを明らかにしました。



©NEW KOMETO



©NEW KOMETO

② いじめを無くせ!

いじめにより尊い命が失われる悲しい事件が頻繁に報道されているなか、本市においても過去尊い命が失われる痛ましい事件がありました。この経験を風化することなく、取り組みを強化するようたどしました。

教育長は、教師の初任者研修に具体例を取り上げた事例研修などを行っていることを明らかにし、教育内容の工夫や関係部局との連携など、いじめに対する対応力の強化を図っていくことを表明たしました。

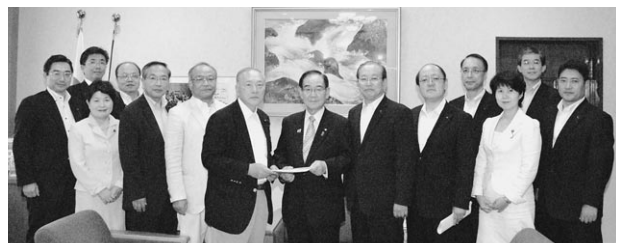
③ 高齢者に安心した居住環境を!

介護施設の整備、在宅サービスの提供、さらに認知症に対する支援など、本市の取り組みをたどしました。

健康福祉局長は地域包括支援センターの整備が53%で有り、在宅生活を支えるのに必要不可欠な24時間対応の訪問介護サービスを5事業所が行っていることを明らかにしました。さらに認知症対策として、かかりつけ医等の医療関係者や介護支援関係者が参加する「川崎市認知症支援連絡会議」を設置し支援強化を図ることを表明しました。

平成25年度予算要望書を市長に提出

10月15日、来年度予算に向け、403項目にわたる要望を市長に提出しました。



いちばん近くで、動く、働く、

公明党 川崎市議団

④ 県内初「子どもを虐待から守る条例」制定!

「身体的虐待」「ネグレクト(育児放棄)」「性的虐待」「心理的虐待」によって子どもを死に至らせるような深刻な事件が後をたちません。このたび児童虐待の防止を目指し、「子どもを虐待から守る条例」を四党派合同で議員提案しました。審議では、

共産党・無所属会派が反対する中、賛成多数で可決、成立しました。

この条例の特徴は、保護者の交際相手や同居人の虐待も対象とした事や早期発見・関係機関の情報共有のため「区役所の連携強化」を盛り込んでいます。



©NEW KOMETTO

⑤ 緊急輸送路確保のための対策強化を!



©NEW KOMETTO

公明党は、①緊急輸送路に架かる橋梁や落橋により2次災害の恐れのある跨線橋等の耐震化②緊急輸送路沿いの擁壁の調査・修繕対策の実施③道路の通行を妨げる恐れのある建築物の耐震化を進めるよう主張。総務局長は「124橋を選定し今年度は12橋、平成26年度までに全て完了

を目途に取り組み」と答弁。また、「擁壁については今年度20カ所を抽出し対策を実施し、建築物耐震化については、重点的に進める必要があり、川崎市特定建築物耐震改修等事業助成制度において耐震診断・耐震改修の助成を行う」と回答、公明党の主張が大きく前進しました。

⑥ 川崎駅周辺の安全対策などを強化!

川崎駅周辺の再開発に伴い、安全対策強化、市民の利便性向上、市内経済の活性化などを訴えました。

川崎駅利用者が現在の35万人から将来は50万人と、増加の推計をしています。現在、北口自由通路と合わせて改札が2カ所増設される計画が進んでいますが、南口に

も改札を整備するよう訴え、北口完成後、検討されることになりました。また、北口自由通路に面して、行政サービスコーナーが設置され、観光・文化・芸術などの情報発信も検討されることになりました。ルフロン前の信号機設置については、今年度設置に向けて取り組まれています。



⑦ 健康マイレージ制度を提案!



©NEW KOMETTO

市民の健康増進を目的として、40歳以上を対象に介護予防、生活習慣の改善、健康診断等の受診などをポイント化して、市民が積極的に健康づくりに参加できるよう健康マイレージ制度を提案。川崎市も前向きに検討することになりました。

具体的には、各種検診や健康増進事業に参加するごとにポイントを付与するものです。既に北九州市では、1700を超える事業が登録をし、5ポイントで1000円相当、10ポイントで2000円相当の景品と交換が出来る制度としてスタートしています。

お知らせ

ごみ収集の新計画

平成25年9月からの(1)普通ごみ収集の週3回から2回への変更や(2)プラスチック容器等の分別収集の全市拡大(今は川崎・幸・中原区のみ)などにより、年間5億円の経費と3万6000トンのCO₂を削減することを柱とする、新しい収集計画を発表。公明党は、新しい市民説明会の実施とともに、夏だけの週3回収集やごみ集積所へのネット設置などを求めています。

10月1日から 国民年金保険料の後納を受付開始!

昨年の「年金確保支援法」の成立により、国民年金の受給資格(原則として最低25年間の納付が条件)がない無年金の人や、低年金となってしまう人が最高で過去10年間分の保険料をさかのぼって支払えるようになりました。分割も可能です。

【問い合わせ先】
☎0570-011-050
日本年金機構まで

木造住宅耐震改修助成制度予算拡充!

木造住宅耐震改修助成制度の予算増を求めていましたが、いよいよ、10月議会で補正予算増が決定。予算不足で来年度に持ち越されることなく、当初の対象が100件から、75件増の175件に助成が拡大。今年度見込まれる新規申請者のほとんどが年度中に助成を受けられます。

【問い合わせ先】川崎市まちづくり局
指導部建築監察課建築防災担当
☎044-200-3017